

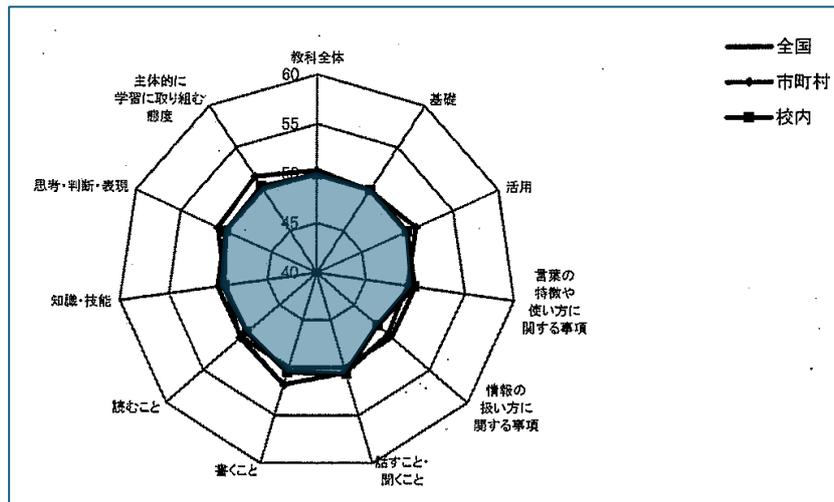
## 令和6年度摂津市学力定着度調査の結果から

### 1. 学校全体の結果概要

学年・教科での差はありますが、全教科（国語・算数・理科）が全国平均と大きく変わることなく、おおむね良好な状況です。

### 2. 2年生の結果分析

#### 《国語》



#### 【成果】

- ・1年生の漢字の書き取り、2年生の漢字の読みについては、全て全国を上回っています。
- ・話の内容を聞き取る問題については、話に関心を持ちながら聞くことができています。

#### 【成果の要因】

- ・少人数でのペアワークや話し合いを通じて、互いの話を聞く活動を積極的に行ったことが成果に結びついたと考えられます。

#### 【課題】

- ・指定された条件や長さで文章を書くことに課題があります。

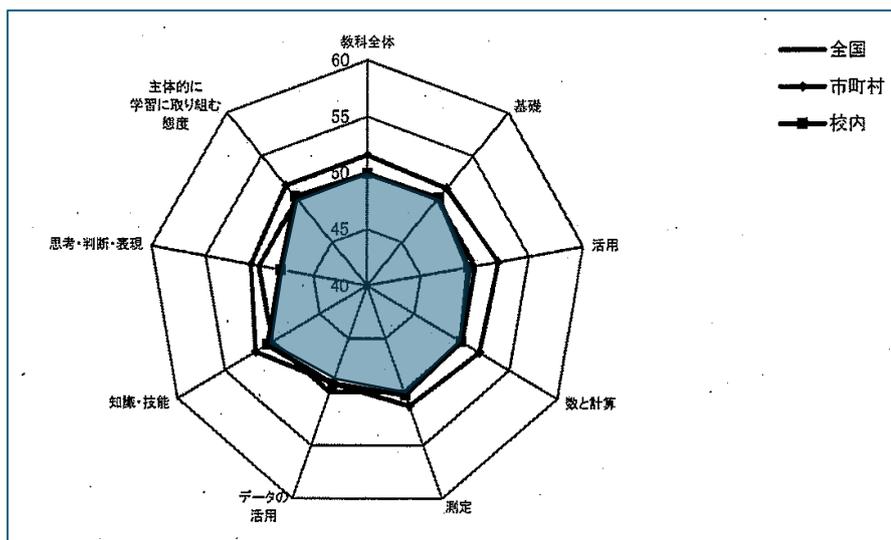
#### 【課題の要因】

- ・条件付き作文については朝学習の「マシコレ」で取り組んでいましたが、十分ではなかったと考えられます。

#### 【今後の取組み】

- ・条件を定めた文章を書く活動（日記や短作文ワークなど）を、継続的に行うことで、書く力の向上をめざします。

## 《算数》



### 【成果】

- ・ 1000までの数の理解ができています。
- ・ 2～5の段のかけ算については、しっかり定着しています。

### 【成果の要因】

- ・ 算数の時間、毎回反復練習により九九の徹底を図ったことが成果につながったと考えられます。

### 【課題】

- ・ 繰り上がり、繰り下がり計算の定着が確実なものになっていません。
- ・ かけ算を用いた文章題に課題があります。
- ・ 時刻の理解ができていません。

### 【課題の要因】

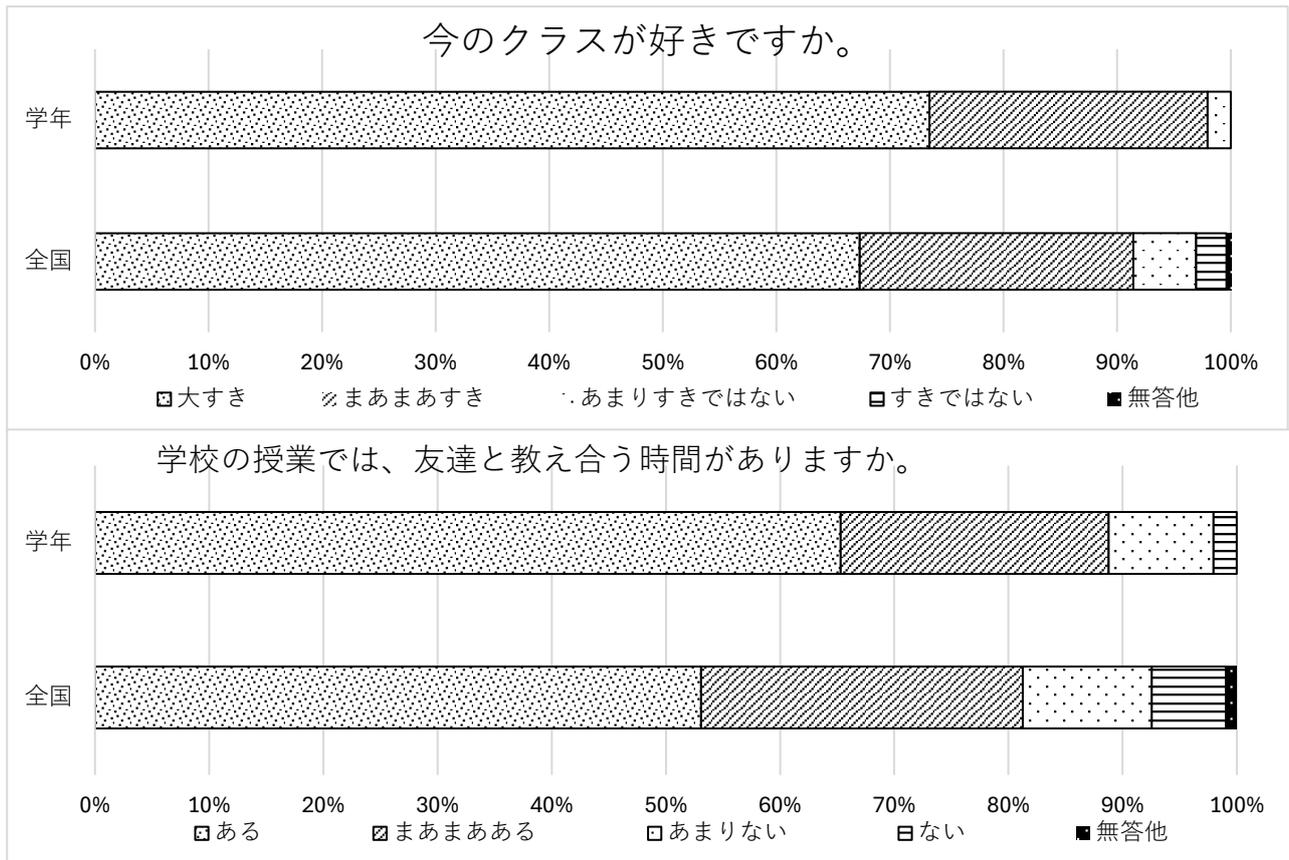
- ・ 必要な情報を読み取る力を養うことが足りなかったと考えます。

### 【今後の取組み】

- ・ 授業の導入で、九九や繰り上がりのある計算などを継続して反復練習をしていくことで、基礎計算の能力を高めていくようにします。
- ・ 文章題を定期的に解くことで、情報を読み取る力をつけていくようにします。

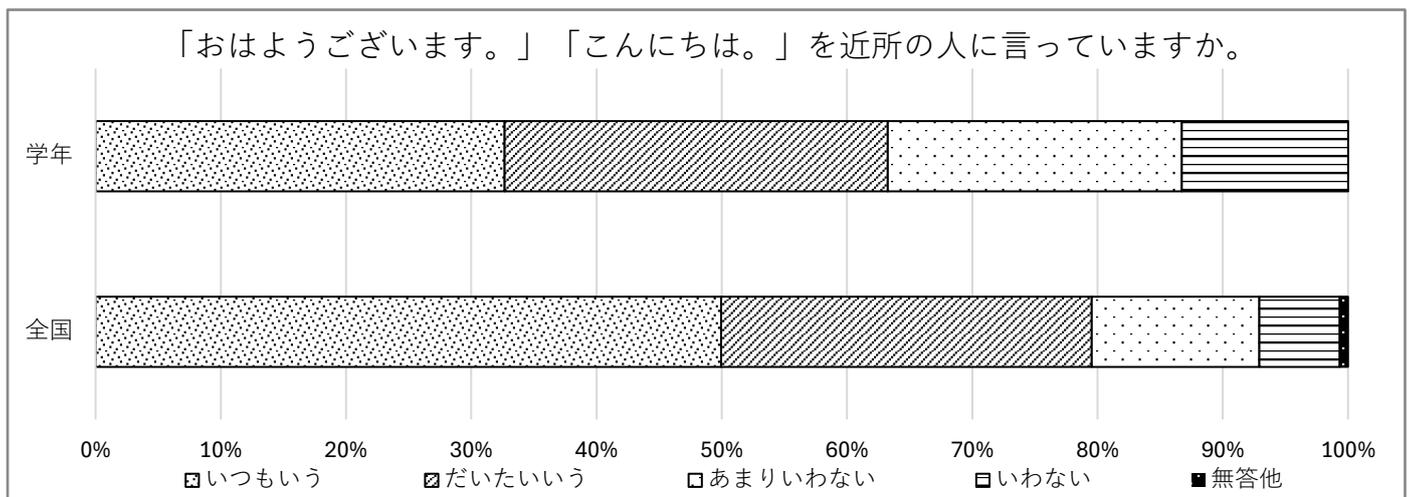
## 《i-check》

\*肯定的回答が多かった項目



上記2つの項目から友だちと教えあう時間である対話を多く用いることで、横のつながりが生まれ、お互いのことを知り、今のクラスが良いと感じられるようになったのだと考えます。

\*肯定的回答が低かった項目



近所の人へのあいさつができる児童が少ないです。昨今の不審者などの不安感情の高まりから、あまり話しかけられない状況があると思われます。また、地域の方の学習も進めていますが、つながりが深まるにはまだ十分ではないと考えられます。